

見附市教育情報セキュリティポリシー改定業務委託 仕様書

本業務を委託するにあたり、仕様は下記のとおりとする。

1. 業務名

見附市教育情報セキュリティポリシー改定業務

2. 背景・目的

学校では教職員が校務を実施するために情報システムを利用するほか、文部科学省の GIGA スクール構想により児童、生徒に 1 人 1 台端末が整備されており、児童生徒が日常的に情報システムにアクセスする機会があるため、学校現場ならではの環境を考慮した情報セキュリティを確立する必要がある。

また本市では、パブリッククラウド上で学習系・校務系情報を取り扱うにあたってこれまでの境界防御型セキュリティに代わって、強固なアクセス制御による対策を前提とするセキュリティが導入されたため、当市の実態に応じた実効性の高い教育情報セキュリティポリシーを喫緊に策定する必要がある。

本業務は、本市が作成する教育情報セキュリティポリシー基本方針・対策基準・実施手順原案に対し、文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」（平成 29 年 10 月策定、令和 7 年 3 月改訂）及び「教育情報セキュリティポリシーハンドブック」（令和 7 年 3 月）に基づき、セキュリティポリシー（基本方針・対策基準）及び実施手順の改訂並びに職員研修を実施することで適切な情報セキュリティ対策に取り組むことを目的とする。

3. 業務の期間

契約日から令和 7 年 12 月 31 日まで

4. 業務の内容

（1）状況把握

現状の教育情報セキュリティ基本方針・対策基準等の策定状況等について関連文書を確認する。（教育情報セキュリティ関連の規定類がない場合、現状の情報セキュリティポリシー関連の規定類を確認する）

（2）学校聞き取り調査

教育情報セキュリティ対策のための情報収集を行うため、小中各 1 校程度に対して聞き取り調査を行う。聞き取りを行う対象は、事務局と協議のうえ決定する。

(3) 教育情報セキュリティポリシーの改訂

事務局打合せや学校聞き取りの調査の結果を踏まえて、本市が作成する教育情報セキュリティポリシー基本方針・対策基準案をもとに教育情報セキュリティポリシーの改訂を行う。改訂にあたっては文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（平成 29 年 10 月策定、令和 7 年 3 月改訂）」等に基づき改訂すること。

(4) 教育情報セキュリティ実施手順の改訂

事務局打合せや学校聞き取りの調査の結果を踏まえて、本市が作成する実施手順案をもとに教育情報セキュリティ実施手順の改訂を行う。改訂にあたっては文部科学省「教育情報セキュリティポリシーハンドブック（令和 7 年 3 月）」等に基づき改訂すること。

(5) 教育情報セキュリティポリシー研修

教職員が教育情報セキュリティポリシーに従い、情報資産の安全管理及び取り扱い等についての実効性を確実にするため、教職員に対する教育情報セキュリティポリシーおよび実施手順の周知、セキュリティ意識の向上を目的とした研修を 1 回実施すること。また当日欠席者向けの対応および振り返り学習用として、資料作成および実施する研修を撮影した動画ファイルの作成・納品を行うこと。

5. 成果品

本業務の成果物を下記のとおり作成し見附市の承認を得た上で提出すること。

- ①教育情報セキュリティポリシー（基本方針）
- ②教育情報セキュリティポリシー（対策基準）
- ③教育情報セキュリティ実施手順
- ④研修資料・動画ファイル

6. 守秘義務等

- (1) 受託者は、本業務において知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。契約期間の終了後又は解除後も同様とする。また、機密を含む成果物（業務の過程で得られた記録等を含む。）を本市の許可なく第三者に閲覧、複写、貸与又は譲渡してはならない。
- (2) 資料・データの紛失、滅失、毀損、盗難等を防止するための必要な措置を講ずること。

7. その他

- (1) 本業務の円滑な推進を図るため、過去に情報セキュリティポリシー策定及び監査支援、実績を有すること。また業務を推進するうえで必要な経験と能力を有する十分な技術者を配置すること。
- (2) この仕様書は基本的な要求事項を定義したものであり、本業務を遂行する上で新たに発生した事項については、見附市及び受託者でその都度協議するものとする。
- (3) 本市が必要と認める場合は、契約内容の遵守状況及び委託業務の履行状況について、受託者に対して報告を求め、検査又は必要な指示等を行うことができるものとする。受託者は、本市から上記の申し出を受けた場合には受け入れること。